

株式会社 指田製作所

2023年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年10月1日~ 2023 年9月30日)



作成日: 2023年10月30日



目 次

項目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価,次年度の環境経営計画	7
廃棄物量	8
緊急事態対応試行・訓練	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反,訴訟の有無	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

環境理念

緑豊かな青梅の地、美しい多摩川の流れ、この自然に恵まれた大地で 製造業を営む株式会社指田製作所では、生産の事業活動において 地球環境の保全を重要課題の一つと捉え、環境にやさしい企業を目指します。

基本方針

- 1 環境経営システムを構築し、環境活動の継続的改善を図ります。
- 2 環境目標を設定し、継続的な環境負荷の低減に取り組みます。
 - ① 廃棄物削減のため、その発生自体を抑制するとともに、 分別の徹底により リサイクルを推進します。
 - ② 二酸化炭素排出量削減のため、省エネルギー活動を推進します。
 - ③ 水資源使用削減のため、節水活動を推進します。
 - ④ 生産工程における不良率の低減活動を行い、資源の有効利用に努めます。
- 3 環境関連の法規等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- 4 製品含有化学物質の管理について、各法規制及びお客様の要求事項を 遵守します。
- 5 医薬用外毒物劇物の管理について、各法規制及びお客様の要求事項を 遵守します。
- 6 環境に配慮した設備投資(ESGリース対象物件)や 工場改修(LED照明・省エネエアコン)を実施します。
- 7 美しい多摩川フォーラムに参画し、地域の環境保全活動に協力します。
- 8 環境方針は全従業員に周知するとともに、環境活動の取組状況を 社内外に公表します。
- 9 上記1~8について、誓約します。

2022年12月15日 株式会社指田製作所 代表取締役社長 内山英男

■組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社指田製作所 代表取締役社長 指田重治郎

(2) 所在地

本社工場東京都青梅市今井3-4-20第二工場東京都青梅市今井3-4-11第三工場東京都青梅市今井3-4-22第五工場東京都青梅市今井3-4-25第六工場東京都青梅市今井3-4-28

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者常務取締役 内山英男担当者営業G高松 潤

連絡先 TEL 0428-31-8811 FAX 0428-31-3488

E-Mail <u>takamatsu.m@sashida.co.jp</u>

(4) 事業内容

半導体関連装置、医療器、精密測定器、電子顕微鏡、各種分析装置等の部品加工及びユニット組立の受注製造

(5) 事業の規模

資本金 4,500 万円

	本社工場	第二工場	第三工場	第五工場	第六工場	合計
従 業 員 名	66 名	51 名	27 名	7 名	3 名	154名
敷地m	1,702 m ²	2,012 m ²	1,770 m ²	1,095 m ²	196.2 m ²	6,775 m²
延べ床面積 m	2,072 m ²	2,633 m ²	2,020 m ²	1,603 m ²	392.4 m ²	8,720 m²

※第六工場は倉庫として利用

(6) 事業年度 2022年 10月1日 ~ 2023年 9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

対象事業所: 本社工場・第二工場・第三工場・第五工場・第六工場

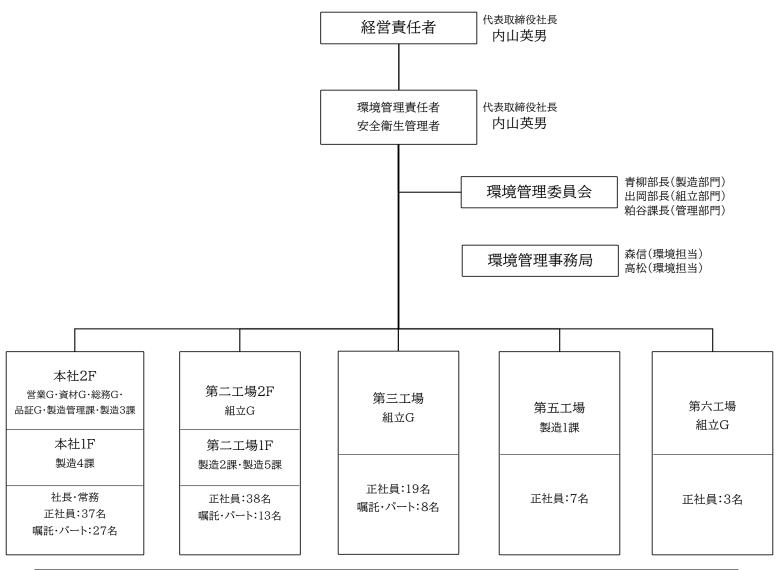








■組織の概要



役職	責任及び権限
	環境管理システムの構築及び定期的な見直しの実施
	環境管理責任者・安全衛生管理者の任命
	環境方針の決定、環境目標及び環境活動計画の承認
	効果的で必要十分な実施体制を構築する
┃ 経営責任者	実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する
性百貝任有	環境経営システムの実施及び維持管理に必要な経営資源の準備
	5S・安全衛生の推進に必要な経営資源の準備
	緊急事態発生時の統括
	社内情報の外部公開可否の決定
	経営における課題とチャンスの明確化
	環境経営システムの確立、実施、維持管理及び継続的改善
	環境方針、環境目標及び環境活動計画の立案
環境管理責任者	環境経営システムの実施状況の把握と社長への報告
安全衛生管理者	環境関連・安全衛生法規の遵守状況管理
	環境管理委員会の委員長として委員会の運営
	5S・安全衛生の責任者として、安全な職場づくりの推進
	職場パトロールにより、環境・5S・安全衛生面での改善提案活動
環境管理委員会	省エネ活動・エコキャップ運動など各職場の活動推進
	緊急事態への対応、問題発生に対する是正及び予防措置策定
	環境関連・安全衛生法規の情報収集及び管理
	環境経営システムに関するマニュアル・規定類の整備
環境管理事務局	環境に関する顧客対応
	環境関連教育及び訓練の計画策定と統括
	環境負荷の記録管理と資料作成
	環境活動計画の自部門での実施、維持管理及び継続的改善
	環境関連・安全衛生法規の自部門での遵守状況管理
部門責任者	環境関連教育及び訓練の実施
	緊急事態及び問題発生時の処置及び報告
	5S・安全衛生の部門責任者として、安全な職場の維持管理と継続的改善

■環境経営目標及び実績

		2023年度	2023年度	
主な具体的実	施項目		実測値	結果
	1-1. 焼却廃棄物	8,000(Kg) (従業員1人当り 4.4Kg/月) 2021年度より1.5%減	9,166.5 (Kg)	×
	1-2. リサイクル (段ボール他)	24,000(kg) 2021年度より7.4%減	34,571.4 (Kg)	×
1. 廃棄物等排出量の削減	1−3. 金属くず (切粉)	33,500(kg) 2021年度より2.8%減	39,058 (Kg)	×
	1-4.水溶性廃油	24,800(&) 2021年度より1.6%削減	24,450(1)	0
	1-5.廃プラ	4,700(kg) 2021年度より1.0%削減	5,652 (Kg)	×
2-1.電気使用量 東京電力エナジーバ 令和1年度 調整後係数係数	パートナー	1,258,000(kwh) 2021年度より0.09%削減	1,442,670(Kwh)	×
2-2.ガソリン使用	量の削減	7,900(&) 2021年度より6.5%減	9,825.43(@)	×
2−3.軽油使用量	の削減	8,900(&) 2021年度より0.7%減	6,334(1)	0
3. 水使用量の	の削減	1,780(㎡) 2021年度より9.7%減	2,033 (㎡)	×
4. 不良率の	削減	1.52(%) 2020年度より6.8%減	1.17 (%)	0
5. 化学物質等	の管理	1,000(kg) 2021年度より4%減	1,152 (kg)	×
6. 二酸化炭素絲	総排出量	616,032.34(CO₂-Kg) 2021年度と同一	692728.77 (СО₂-кg)	×

■次年度以降環境経営目標

主な具体的実施項目		2024年度	2025年度	2026年度	
土は具体的夫	旭 垻日	目標値	目標值	目標值	
	1−1. 焼却廃棄物	10,200(kg) (従業員1人当り5.6Kg/ 月) 2023年度実績参照	10,000(Kg) (従業員1人当り 4.3Kg/月) 2023年度より1.9% 減	9,800(Kg) (従業員1人当り 4.3Kg/月) 2023年度より3.9% 減	
	1−2. リサイクル (段ボール他)	48,540(kg) 2023年度実績参照	48,300(kg) 2023年度より0.5% 減	48,000(kg) 2023年度より1.1% 減	
1. 廃棄物等排出量の削減	1-3. 金属くず (切粉)	24,800(Ձ) 去年度目標持続	39,000(kg) 2023年度より1.1% 減	38,500(kg) 2023年度より2.4% 減	
	1-4.水溶性廃油	24,800(&) 2021年度より1.6%削減	24,500(&) 2023年度より1.2% 削減	24,300(&) 2023年度より2%削 減	
	1-5.廃プラ	6,865(kg) 去年度目標持続	6,800(kg) 2023年度より0.9% 削減	6,750(kg) 2023年度より1.7% 削減	
2-1.電気使用量の削減 東京電力エナジーパートナー 令和1年度 調整後係数係数0.455		1,438,020(kwh) 去年度目標持続	1,435,000(kwh) 2023年度より0.2% 削減	1,245,000(kwh) 2023年度より0.5% 削減	
2-2.ガソリン使用	量の削減	9,825(&) 2023年度実績参照	7,800(』) 2021年度より7.7% 減	7,700(ℓ) 2021年度より8.9% 減	
2−3.軽油使用量	の削減	6,335(&) 2023年度実績参照	8,900(ℓ) 2021年度より1.2% 減	8,850(&) 2021年度より1.8% 減	
3. 水使用量の	り削減	2,120(㎡) 2023年度実績参照	2,100(㎡) 2023年度より0.9% 減	2,050 (㎡) 2023年度より3.3% 減	
4. 不良率の	削減	1.52(%) 年間30件以下 ISO9001連携	1.52(%) 2023年度と同一	1.52(%) 2023年度と同一	
5. 化学物質等	の管理	1,460(kg) 2023年度実績参照	1,450(kg) 2023年度より0.6% 減	1,400(kg) 2023年度より4.1% 減	
6. 二酸化炭素絲	総排出 量	689,770,20(CO₂-Kg) 2023年度実績参照	689,770,20(CO₂-Kg) 2023年度と同一	689,770,20(CO₂-Kg) 2023年度と同一	

■2024年度環境経営計画

■廃棄物等排出量の削減

焼却廃棄物

- ・ゴミ分別の徹底
- ・コピー時の裏紙使用
- ・再利用可能なものは再利用する

リサイクル(段ボール他)

・再利用可能なものは再利用する

金属くず(切粉)

・計測活動を維持

水溶性廃油

・計測活動を維持

廃プラ

・計測活動を維持

■二酸化炭素排出の削減

電気使用量の削減 係数0.455

- ·空調 → 夏28°C 冬20°C
- · 照明 → 不要時消灯
- ·OA機器 → 不要時消灯

ガソリン使用量の削減 係数2.32

- ・エコト゛ライフ゛
- ・同一方面への乗り合いによる使用量の削減

軽油使用量の削減 係数2.58

- ・エコト゛ライフ゛
- ・同一方面への乗り合いによる使用量の削減

■水使用量の削減

- ・手洗い時等の節水
- ・無駄なトイレの流水防止

■不良率の削減

・客先流出不良の削減

■化学物質等の管理

・必要以上の使用を控える→TA1000、AP7

■二酸化炭素総排出量

係数0.455 東京電力エナジーパートナー

●重要取組

●重要取組

●重要取組

●重要取組

●重要取組

●重要取組

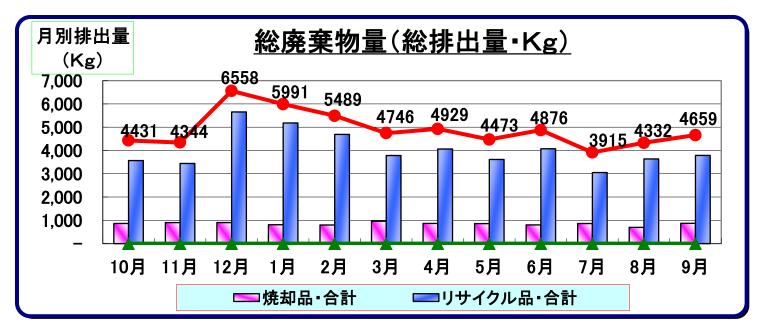
●重要取組

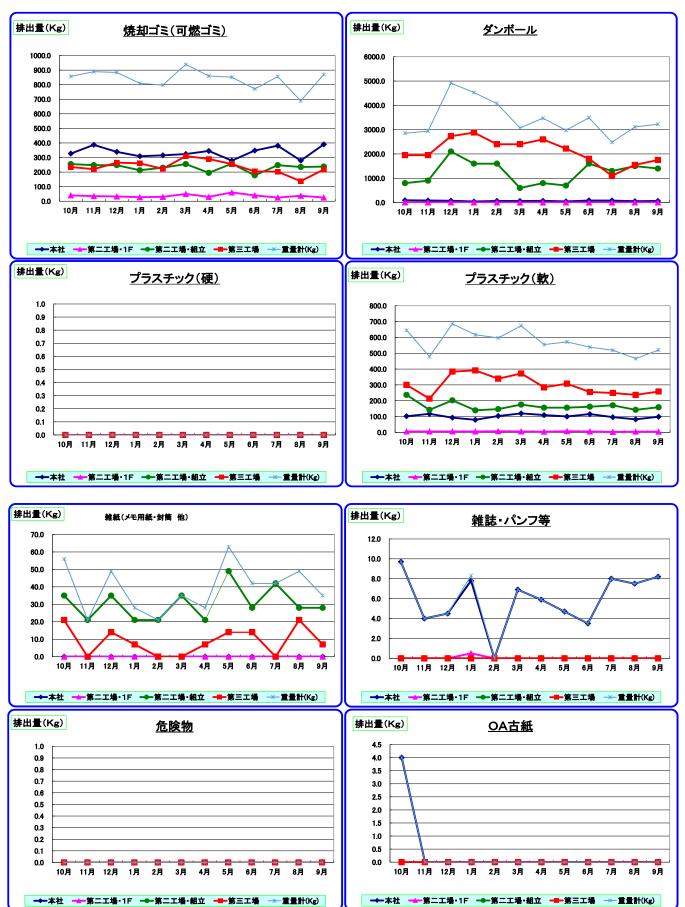
■環境経営計画取組結果

	目標		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	H 185	目標値/(Kg)	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	8,000
焼却廃棄物	8,100	今期/ (Kg)	865.0	902.5	903.5	810.5	799.0	962.0	866.5	859.5	803.0	862.5	697.0	871.5	10,202.5
(kg)	月別結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		日標値/(Kg)	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2.000.0	2,000.0	2,000.0		2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	24,000
リサイクル (段ボール	24,000	今期/ (Kg)	3,566.4	3,441.7	5,654.6	5,180.8	4,690.1	3,783.9	<u> </u>	3,613.4	4,073.1	3,052.7	3,635.4	3,787.7	48,542.50
他)	(kg)			,				,	,	,				,	·
10)		月別結果	×	×	×	×	×	X	X	×	×	×	×	×	X
金属くず	33,500	目標値/(Kg)	2,791.0	2,791.0	2,791.0	2,791.0	2,791.0	2,791.0		2,791.0	2,791.0	2,791.0	2,791.0	2,791.0	33,500
(切粉)	(kg)	今期/ (Kg)	4,385.0	3,350.0	4,765.0	1,503.0	4,245.0	2,027.0		2,339.0	5,105.0	2,545.0	2,793.0	2,685.0	39,459
		月別結果	×	×	×	0	×	0	×	0	×	0	×	0	×
	24,800	目標値/(ℓ)	2,066.0	2,066.0	2,066.0	2,066.0	2,066.0	2,066.0	1	2,066.0	2,066.0	2,066.0	2,066.0	2,066.0	24,800
水溶性廃油	(1)	今期/(ℓ)	0.0	1,000.0	0.0	1,650.0	0.0	1,000.0	10,900.0	1,350.0	2,500.0	2,250.0	0.0	1,850.0	22,500
		月別結果	0	0	0	0	0	0	×	0	×	×	0	0	0
	4,700	目標値/(ℓ)	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	391.6	4,700
廃プラ	(kg)	今期/(ℓ)	645.0	478.5	685.5	616.5	597.0	673.5	555.0	571.5	538.5	519.0	466.5	520.5	6,867
		月別結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	1,259,00	目標値/(kwh)	104,916.0	89,445.0	95,825.0	116,624.0	143,939.0	111,899.0	92,699.0	79,295.0	99,162.0	103,857.0	130,760.0	112,723.0	1,258,000
電気使用量	0	今期/(kwh)	116,588.0	103,738.0	114,408.0	126,237.0	138,208.0	112,504.0	102,395.0	96,669.0	113,043.0	128,814.0	145,257.0	140,162.0	1,438,023
これへ加圭	(kwh)	月別結果	×	×	×	×	0	×	×	×	×	×	×	×	×
		CO₂排出量	53,047.5	47,200.8	52,055.6	57,437.8	62,884.6	51,189.3	46,589.7	43,984.4	51,434.6	58,610.4	66,091.9	63,773.7	654,300.47
		目標値/(ℓ)	759.7	742.3	929.4	714.0	778.3	556.9	636.8	619.7	799.6	623.7	651.8	734.9	7,900
ガソリン	7,900	今期/(ℓ)	751.7	818.3	1,011.2	830.5	663.7	890.8	896.8	712.3	815.2	910.9	623.0	901.1	9,825.43
使用量	(1)	月別結果	0	×	×	×	0	×	×	×	×	×	0	×	×
		CO₂排出量	1,743.9	1,898.5	2,345.9	1,926.7	1,539.8	2,066.7	2,080.5	1,652.5	1,891.3	2,113.3	1,445.3	2,090.6	22,795.00
		目標値/(ℓ)	821.0	864.0	1,029.0	835.0	1,004.0	977.0	731.0	578.0	466.0	407.0	671.0	631.0	8,900
拉 法 (4 田 目	8,900	今期/ (ℓ)	578.0	512.0	391.0	666.0	527.0	636.0	582.0	454.0	495.0	453.0	429.0	611.0	6,334
整	経油使用量 (ℓ)	月別結果	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0
		CO₂排出量	1,491.2	1,321.0	1,008.8	1,718.3	1,359.7	1,640.9	1,501.6	1,171.3	1,277.1	1,168.7	1,106.8	1,576.4	16,341.72
		目標値/(㎡)	0.0	309.0	0.0	337.0	0.0	318.0	0.0	331.0	0.0	341.0	0.0	318.0	1,780
水使用量	1,780	今期/ (m³)	0.0	354.0	0.0	333.0	0.0	352.0	0.0	375.0	0.0	378.0	0.0	328.0	2,120
	(m³)	月別結果	×	×	×	0	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		目標値/(%)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	1.52
不良率	1.52	今期/ (%)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.65
	(%)	月別結果	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		目標値/(Kg)	48.0	60.0	120.0	60.0	74.0	88.0	60.0	60.0	100.0	182.0	60.0	128.0	1,000
化学物質等	1,000	今期/ (Kg)	102.0	60.0	140.0	120.0	134.0	120.0	148.0	60.0	236.0	74.0	194.0	74.0	1,462
	(kg)	月別結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	×	0	×
		目標値/ (CO ₂ -Kg)	41,643.8	44,648.8	48,411.4	56,874.7	69,888.3	54,726.6	45,541.5	39,008.1	48,176.1		62,739.1		616,032.34
二酸化炭素総	616,032.34	今期/ (CO ₂ -Kg)			55,410.4	61,082.8		54,896.9			54,603.0			67,440.7	693,437.18
排出量	(CO₂-Kg)	月別結果	×	×	×	×	0	×	×	×	×	×	×	×	×
	<u> </u>	定期的な確認・					是正(挽回	<u> </u>	期的な確認・				確認・評価・		
1	■ 1/4半期						六し								
•	納品件数も増えている中不良件数は目標値を下回った結果は弊社の品質面の意識が高い事が伺えます。 ■ 統括 ■ 統括 「標値より下回ってしまった、 また来年度より第七工場・第八工場の稼働が開始する為来年度の目標値は今年度の結果とし、来年度との差を計測する。														

■㈱指田製作所 廃棄物量/2023年度

(2022年10月~2023年9月)

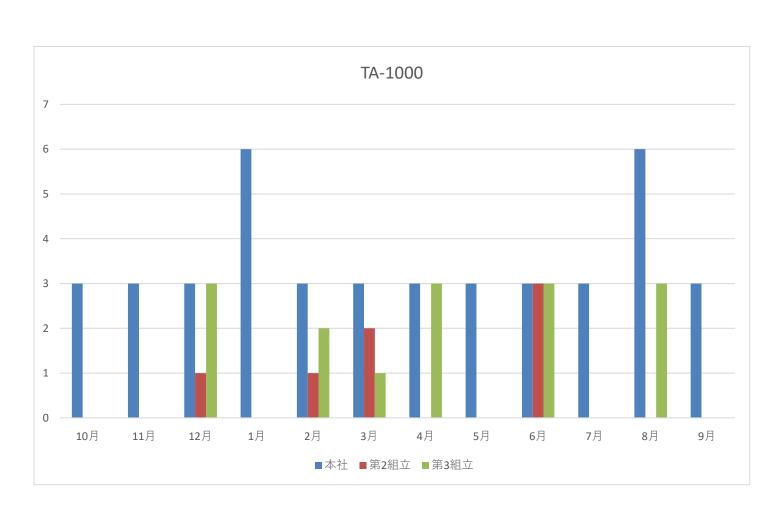




■機指田製作所 電気使用量/2023年度(2022年10月~2023年9月)



■㈱指田製作所 化学物質使用量/2023年度 (2022年10月~2023年9月)



■緊急事態対応試行・訓練

廃油漏れの緊急事態想定訓練



用意してあった土のう袋を側溝に設置し油(水)の流出を止める。



土のう袋にて流出を止めた油(水)を柄杓などで汲み出す。

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反、訴訟等の有無

・当社の事業活動に関係する環境関連法規は以下の通りであり、 環境関連法規への違反、訴訟はありません。 また、関係当局よりの違反、訴訟は過去一度もありません。

法規制等の名称	該当する要求事項(対応すべき事項)
廃棄物処理法	・委託基準:一廃収集業者の許可の確認・保管基準 ・マニフェスト交付・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出・委託基準:産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約 等
騒音規制法	・地域別騒音基準の遵守
水質汚濁防止法	・油及び有害物質の流出事故時の措置と届出・排出基準の遵守
フロン排出抑制法	・第1種特定製品定期点検等

遵守評価日:2023年10月11日

■代表者による全体評価の見直しと結果

売上が伸びているにも関わらず、水溶性廃油の減、軽油使用量の減が達成できた。 期の後半で加工部門の仕事が減少したこと、配送の外部委託を活用したことが理由 と考えられる。また不良率の減少は仕事量に関わらず、取り組みに対して効果の出 る項目で、品質改善活動が環境活動に貢献できたと言える。不必要なものを生産し ないことは、環境負荷の面でも大いに意味があるため、継続していきましょう。

第三工場の空調設備の全館更新、第五工場倉庫のLED照明への更新など、電気効率を向上させる投資をしたが、第六工場、第五工場2階の本格稼働が始まり、結果的に電気使用量が増加してしまった。来期も第七工場の稼働、第八工場の事業譲渡があり、使用量は増加する見込みである。

工場設備の投資にあたりカーボンフリーで生産されたDMG森精機の工作機械や 省エネ補助金対象の工作機械、空調設備の更新、LED照明への更新など、環境に配 慮した投資をしていきます。

よって、見直しの必要な目標設定は今期実績を使用し、各項目の監視をしていきましょう。